



アジア・太平洋総合研究センター  
Asia and Pacific Research Center

## 第22回アジア太平洋研究会資料

# 中国の“製造強国”政策と産業・科学技術 研究会の問題意識と暫定的結論

2023年5月30日

国立研究開発法人科学技術振興機構  
アジア・太平洋総合研究センター

大西 康雄

# 2022年度“製造強国”研究会概要

## 研究目的：

中国は戦略的新興産業が主導する「製造強国」を目指している。

同産業育成政策の効果と発展の実態をケーススタディにより深掘りし、今後の展望を得る。

## 研究項目：

### 1：製造強国に向けた政策配置

マクロレベルの政策、スマート製造の追求、キーとなる部品の内製化

### 2：新興産業の発展と育成政策のケーススタディ

補助政策の実態、企業の発展

### 3：基礎研究分野強化のケーススタディ

基礎研究分野への投入、国際交流の実態

### 4：製造強国と知財権政策

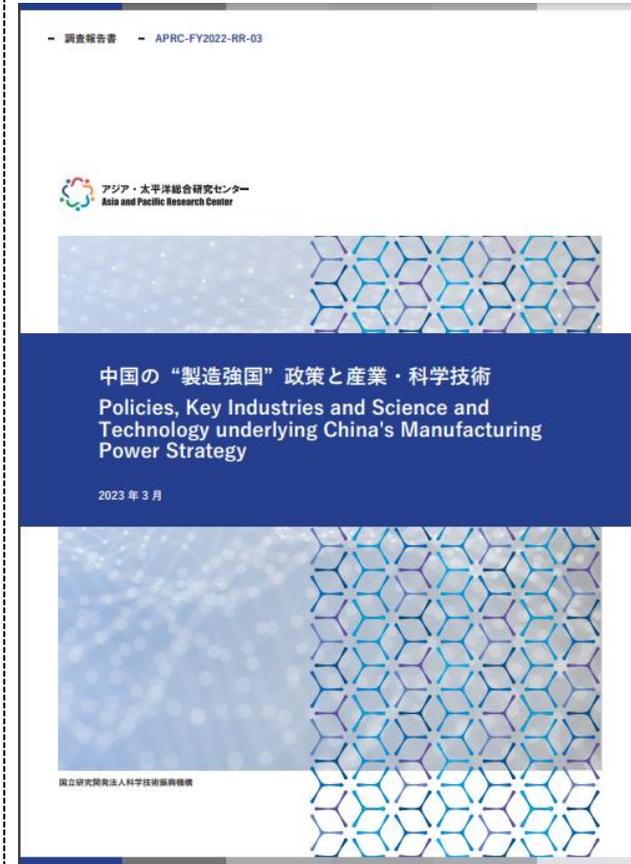
知財政策における権利保護・ライセンス法制定、独禁法運用

[https://spap.jst.go.jp/spcext/pages/survey/index?file\\_url=../investigation/downloads/2022\\_rr\\_03.pdf](https://spap.jst.go.jp/spcext/pages/survey/index?file_url=../investigation/downloads/2022_rr_03.pdf)



アジア・太平洋総合研究センター  
Asia and Pacific Research Center

- 序章 「製造強国」の現状と方向性 (大西康雄)
- 第1章 中国の産業チェーン・サプライチェーンの再構築 (真家陽一)
- 第2章 中国の半導体産業政策の成否に関する分析 (苑志佳)
- 第3章 中国における智能製造の実態と方向性 (金堅敏)
- 第4章 中国自動車産業の“製造強国”化 (丸川知雄)
- 第5章 中国のロボット産業における貿易政策、キャッチアップ及び産業政策 (張紅詠)
- 第6章 中国のデータ保護と利活用 (高口康太)
- 第7章 基礎研究分野での頭脳循環と中国の宇宙・原子力開発の動向 (倉田治雄)
- 第8章 中国のゲノム編集食品等研究・開発の現状と今後の展望 (高橋五郎)
- 第9章 5G移動通信技術をめぐる知的財産法制の動き (本橋たえ子)



# 暫定的結論

1. スマート製造、自動車産業、ロボット産業、デジタルデータ産業では製造強国政策の効果がみられる  
(政策＋イノベーション主体としての企業)
2. 半導体産業は政策効果が十分ではない  
(当該産業の発展に不可欠な国際分業が弱体化)
3. 基礎研究向け投資は手厚く実施されている  
(国立研究機関による開発＋企業による開発・商品化)
4. イノベーションを支える法制整備と運用動向には注目すべき点が多い  
(ライセンスルール整備、法運用による自国産業保護)

# 今後の課題

## イノベーションに着目した分析

- ・ 新興産業におけるイノベーションの実態を分析  
イノベーションの契機、主体。イノベーション環境の評価
- ・ 各国経済安保法制の影響評価  
マイナスの影響、プラスの影響
- ・ イノベーションの特色、共通要因の抽出  
中国型イノベーションの定式化：企業例 → 普遍化
- ・ 今後の展望、日本への示唆を得る  
中国（企業）のイノベーションと日本（企業）；競争と協力

ご静聴有難うございました